

委員からお求めのあった資料

- 山縣委員
 - ・ 幼稚園未設置の市町村について 1
 - ・ 保育所を対象とする第三者評価機関について 2
- 清原委員、庄司委員
 - ・ 地方部における取組の好事例について 4
- 大石委員
 - ・ 過疎地以外を含めた地方部における保育所の現状について 16
- 吉田委員
 - ・ 社会福祉構造改革時の利用制度の転換と苦情解決・第三者評価・情報開示等に
関する資料 18
 - ・ 医療機能評価の仕組みについて 22
 - ・ 全米乳幼児教育協会（アメリカ）とオフステッド（イギリス）における保育の
評価について 24

全国市町村の幼稚園・保育所の設置状況

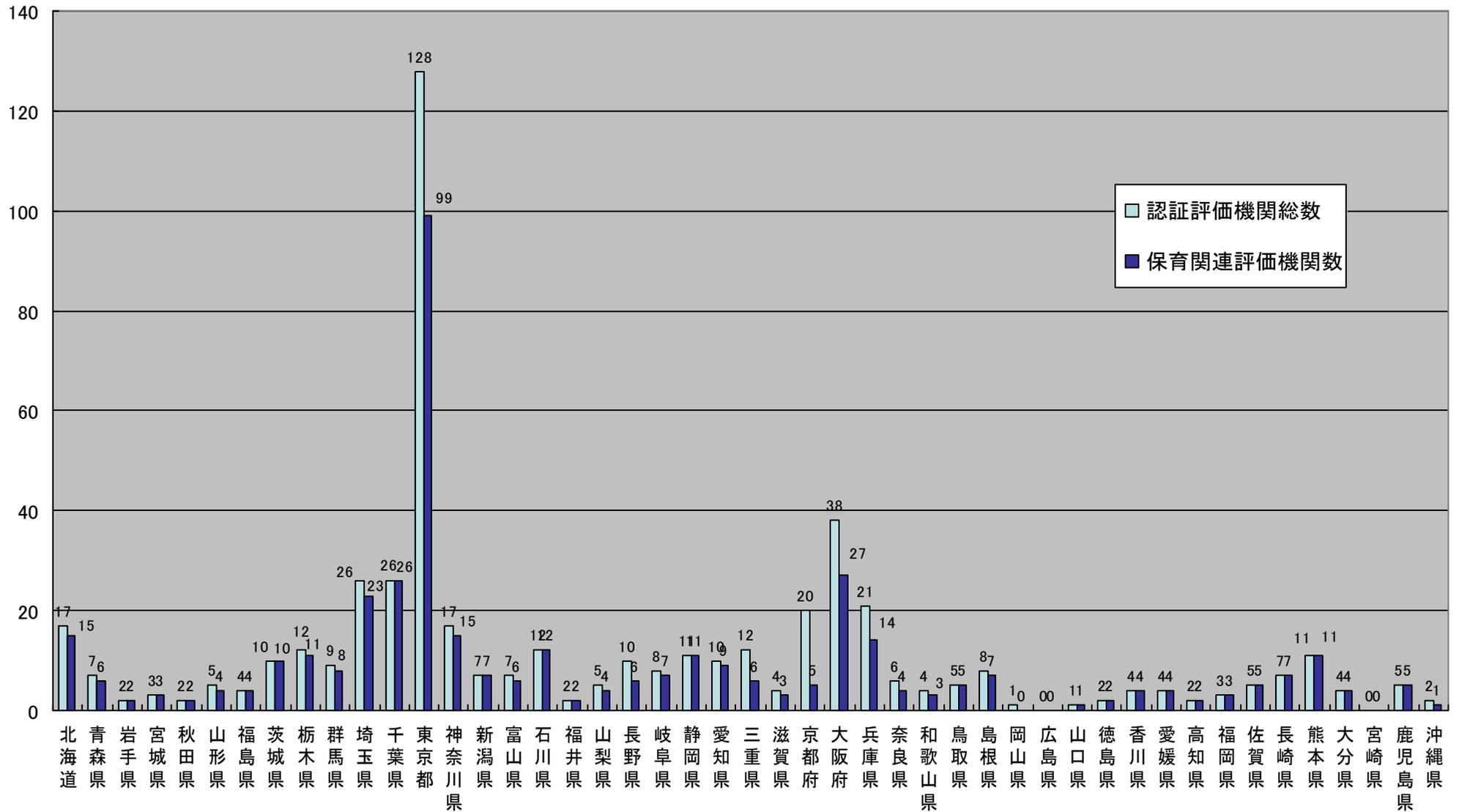
(H18. 5. 1現在)

		市町村の人口規模						計
		5千人未満	5千～1万人	1～2万人	2～5万人	5～10万人	10万人以上	
市町村数	幼稚園・保育所設置	62	159	262	417	275	282	1,457
		3.4%	8.6%	14.2%	22.6%	14.9%	15.3%	79.1%
	幼稚園のみ設置	19	2	6	2	0	1	30
		1.0%	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	1.6%
	保育所のみ設置	144	94	64	24	1	0	327
		7.8%	5.1%	3.5%	1.3%	0.1%	0.0%	17.7%
	幼稚園・保育所とも未設置	25	3	0	0	1	0	29
		1.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.6%
	計	250	258	332	443	277	283	1,843
		13.6%	14.0%	18.0%	24.0%	15.0%	15.4%	100.0%
	幼稚園設置	81	161	268	419	275	283	1,487
		4.4%	8.7%	14.5%	22.7%	14.9%	15.4%	80.7%
	幼稚園未設置	169	97	64	24	2	0	356
		9.2%	5.3%	3.5%	1.3%	0.1%	0.0%	19.3%
保育所設置	206	253	326	441	276	282	1,784	
	11.2%	13.7%	17.7%	23.9%	15.0%	15.3%	96.8%	
保育所未設置	44	5	6	2	1	1	59	
	2.4%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	3.2%	

注) 東京23区は、1市町村として扱っている。

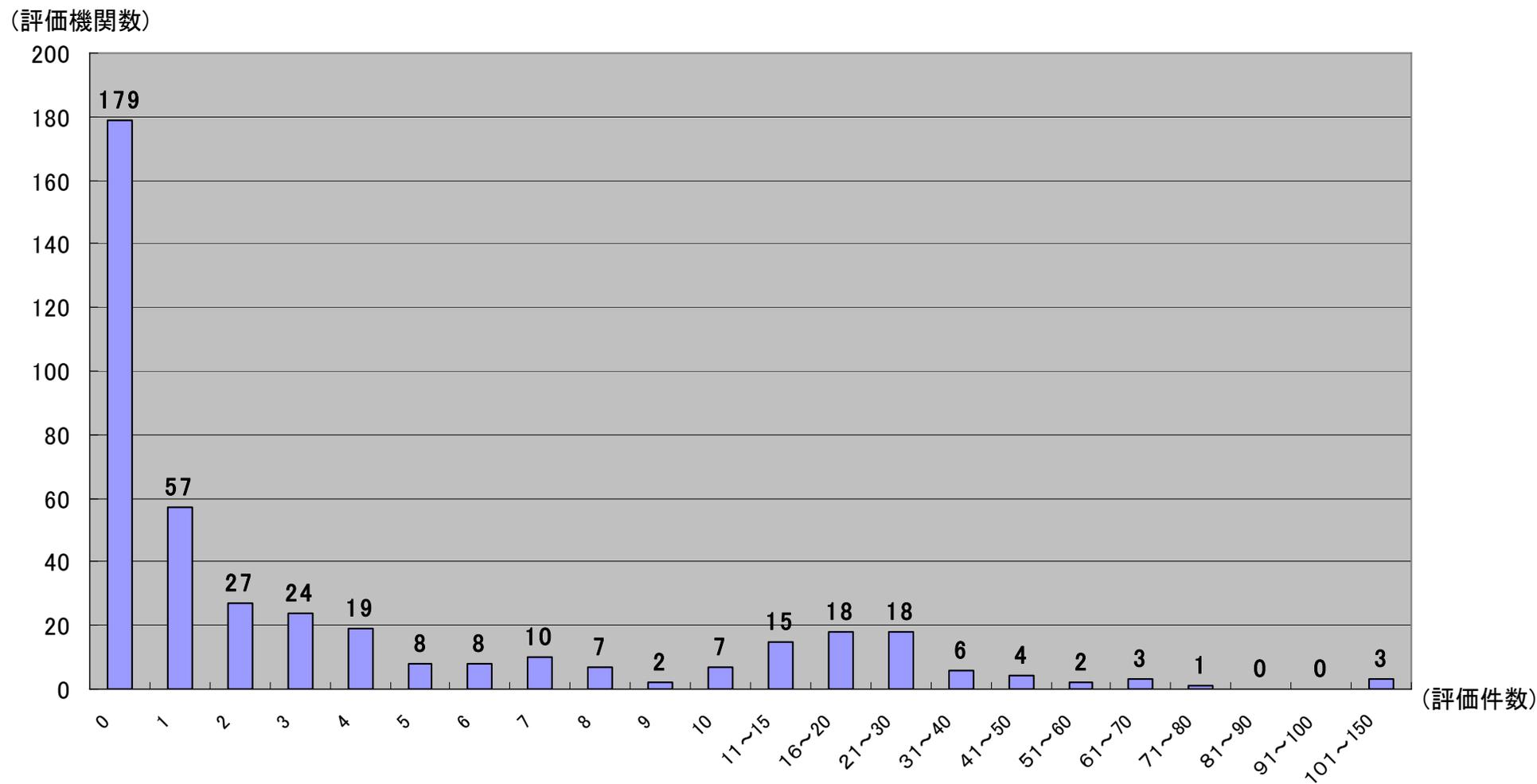
文部科学省調べ

福祉サービスにかかる認証評価機関数



【出典：全国社会福祉協議会『認証評価機関名簿（平成20年3月末日現在）』】

認証評価機関による児童福祉施設評価件数(平成19年度)



【出典:全国社会福祉協議会『認証評価機関名簿(平成20年3月末日現在)』】

資料：財団法人こども未来財団

平成19年度児童関連サービス調査研究等事業「次世代育成支援が地域出生力に及ぼす影響」に関する調査研究 報告書

(主任研究者：岩淵勝好 東北福祉大学教授)

(平成20年2月)(抜粋)

第5節 下條村(長野県)

1. 下條村の概要

下條村は、総面積 37.7k m²、そのうち山林面積が 26.k m²で林野率は 69.4%を占める。また耕地は 4.4k m²、宅地 1.15k m²に過ぎない。

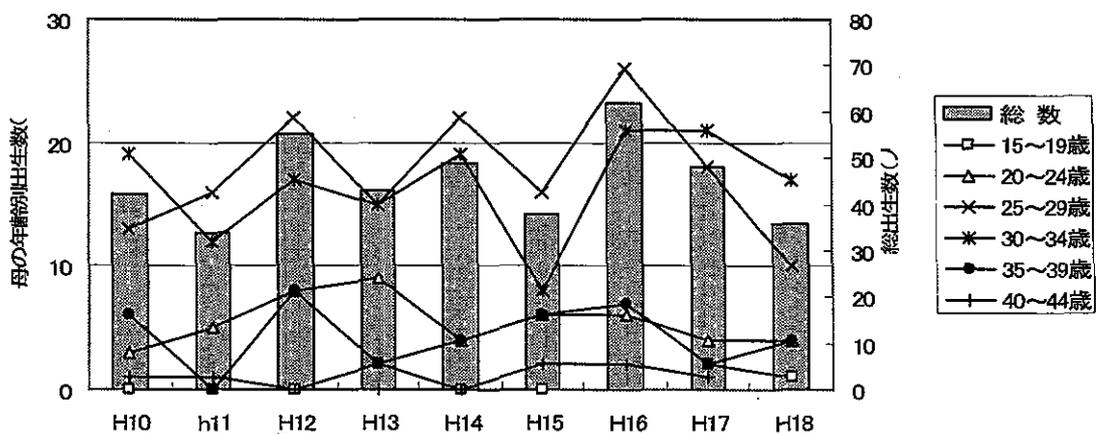
人口は、2007年4月現在 4,216人で、1991年の 3,800人から増加傾向にある。65歳以上人口も割合は 28.8%と全国平均に比べて高いものの、0~14歳人口の割合も高く、2007年4月の 17.1%は長野県下で最も高い。

産業別人口割合をみると、第一次産業 26.9%で、全国平均に比べるとかなり高い。第二次産業も 31.3%と比較的高い割合を示している。

この下條村は、近年出生率が回復している自治体として注目されている。

最近の平均的な出生率は 2 を上回っている。

図 3-1-10 下條村の出生数の推移



(出典：厚生労働省統計情報部『人口動態統計』より作成)

2. 子育て支援

下條村のような小さな自治体で、幼児から中学生までの医療費無料化(2006年度から)がおこなわれていることは特筆すべきである。

また、2007年度からは、保育料一律 10%の引下げがおこなわれている。

【保育園、小学校、中学校の児童生徒数】 [H19.4月現在]

保育園	1園	154人	9クラス	職員数	13名(調理婦2名含)
小学校	1校	291人	12クラス	職員数	20名(用務員1名含)
中学校	1校	142人	5クラス	職員数	16名(用務員1名含)

また、下條村の高い出生率の背景にある重要な要因は、若年者向けの住宅政策がある。1997年からの約10年間で、178世帯の若年層が入居できる住宅を供給している。現在、待機もある。

若者定住促進住宅の建設
平成9年度～平成18年度 若者定住促進住宅の建設

10棟	124戸を建設		
9棟 × 12戸 =	108戸		
1棟 × 16戸 =	16戸		
一戸建て住宅	54戸	合計	178戸

この「若者定住促進住宅」の特徴は以下の通りである。

- ①補助金を使わない住宅の建設。(入居者をフリーハンドで選択できる)
- ②若者定住促進住宅とし入居条件を「子供がいる」か、これから「結婚をする若者」に限定する。(保証人2名)
- ③入居する若者が地域に溶け込んでいただくために、村の行事への参加や消防団への加入等を入居条件にしたことにより、質の良い若者が入居している。
- ④若者同士真のコミュニティーが生まれ、子育てなどに助け合う姿が見られるようになっている。

(資料は、下條村より提供)

また、“村づくりは人づくり”を掲げ、学校教育改革にも取り組んでいる。
主な項目は以下の通りである。

- 1 故郷を良く知る教育の推進
 - ・ 故郷を知ることにより故郷を愛する気持ちの醸成。
- 2 生徒会議会等の充実
 - ・ 生徒会議会等を通じ村の実態を理解し実社会勉強を行う。
- 3 クラブ活動の充実
 - ・ 人の立場を理解する心の醸成。
 - ・ 厳しさに耐える精神力を養う。
- 4 国際化時代に対応

3. 村財政と活性化のための取り組み

以上のようなさまざまな支援を可能にしている背景には、村の財政健全化の取り組みがある。

村民が自ら道路舗装をする風景はあまりにも有名であるが、その他にも、村を挙げてさまざまな努力をおこなっている。

その中には、人件費の削減、上下水道に係る負担減、建築資材の供給状況など、村独自の取り組みがある。

これらの取り組みの結果、村の財政は健全化しており、乳幼児医療費の無料化、保育料の低減、若者定住促進住宅につながっている。

役場組織

首長	伊藤喜平	任期	平成20年7月24日(4期)
副村長	熊谷浩平		
収入役	平成15年11月から設置しない		
教育長	平成17年10月から欠員		

職員数	一般行政職	34名	(H19.4現在)
	(内 保育士6名 保健師2名含む)		

嘱託職員	22名
(内訳)	
学校給食調理員	3
学校公仕	2
司書補助	1
保育士	8
保育所調理員	2
園児バス運転手(兼)	1
福祉員	2
温泉管理人	2
公園管理人	1
道の駅管理人	1
役場公仕	1
オフトークアナウンサ	1

人口千人当たり職員数 (平成16年度財政状況調べより)

下條村	8.56人	類似団体	16.05人 (一般職員)
	(53.33%)		

経常収支比率	人件費比率
(73.9%)	(15.6%)

(資料は、下條村より提供)

下条村の上・下水道の取り組み

1 上水道事業

- ・昭和60年から平成2年までの6年間で完成
- ・総事業費29億8千万円
- ・加入率 99.50%

2 下水道事業

- ・平成元年から検討に入る
 - ・当時国県は、公共下水・農集排を積極的に推進
- [検討課題]
- ・公共下水・農集排の建設費は上水道事業費の1.5倍はかかるといわれ、43～45億円位かかると試算。
 - ・管渠の布設では、1m約10万円くらいかかりイニシャルコストは当然、ランニングコストも未来永劫アップしつづける。
 - ・自己責任・自己管理意識も高揚を図ることができる。
 - ・設置者の事情に合わせて設置計画が可能である。 等々

3 下水道を合併処理浄化槽事業で行うことに決定

総事業費	6億3千230万円	829基(H2～H15)計画基数比96% (全額単年度処理、後年度負担なし)
村負担金	2億2千444万円	
県補助金	2億393万円	
国補助金	2億393万円	

【例】7人槽の場合

・総費用	(単位:円)	691000 (定額)
	内訳	
	国補助金	137000
	県補助金	137000
	村負担金	137000
	村嵩上額	100000
	設置者負担金	180000

4 村の補助

- ・7条法定水質検査料 12000円 (設置時1回のみ)
- ・11条法定水質検査料(毎年1回)5000円 (村で負担)
- ・上記検査料は、通常年間400万円になる。
- ・この他平成16年度から保守点検料年間21000円のうち半額を補助する。
(よって平成16年より村負担約13000万円となる。)

(資料は、下条村より提供)

資材支給事業

1 目的

この事業は
地域住民の生活環境を整備するために、住民自らが施工する工事に関し、村がその資材を支給する。

2 該当工事

- ・村道整備(受益者3名以上の舗装、敷き砂利、側溝布設、横断工、甲蓋、グレーチング他)
- ・農道整備(上記に同じ)
- ・水路整備(受益者3名以上の土側溝の整備、漏水箇所等の整備、取水施設の整備他)

3 事業費

年間の予算 約2千万～3千万円

建設資材支給事業年別実績

年(平成)	総額	箇所数	内訳		
			生コンクリート	砕石等(骨材)	二次製品
4	4,948,641		3,656,063	1,151,125	141,453
5	11,666,791		7,954,126	583,614	3,129,051
6	12,055,066	51	7,213,222	985,298	3,856,546
7	16,829,399	65	10,434,804	1,079,028	5,315,567
8	15,689,984	100	8,325,339	984,061	6,380,584
9	20,483,246	97	14,402,919	1,240,625	4,839,702
10	31,907,551	114	23,323,124	1,004,276	7,580,151
11	21,816,439	68	14,146,430	837,845	6,832,164
12	16,695,638	77	10,231,620	727,962	5,736,056
13	19,454,849	84	10,979,939	727,637	7,747,273
14	19,402,386	78	12,972,648	768,811	5,660,927
15	17,281,113	100	13,211,946	594,458	3,474,709
16	16,266,159	83	10,392,531	545,423	5,328,205
17	12,030,510	85	5,177,417	348,336	6,504,757
18	7,651,506	54	2,624,877	138,234	4,888,395
総計	244,179,278	1,056	155,047,005	11,716,733	77,415,540

村づくりの指数

【財政指数】(普通会計)

年度	単位:%				
	14	15	16	17	18
財政力指数	0.210	0.215	0.221	0.220	0.227
経常収支比率	72.1	70.1	73.9	73.9	76.0
起債制限比率	1.6	1.7	1.4	2.0	3.0
実質公債費比率	-	-	-	5.2	6.0

【起債残高】H18年度末

21億5,917万円

内交付税措置分を引いた実質起債残額5億8,937万円・・・A

【基金現在高】H18年度末

一般会計基金分 26億3,237万円・・・B

差引き残額

B - A 20億4,303万円

(資料は、下條村より提供)

下條村はその他、村の活性化のために下記に示すさまざまな取り組みを 1990 年ごろから続けている。

- 平成元年度 ふるさと体験館「コスモスの湯」建設
- 平成 2 年度 全村水道完成（過疎地域指定から外れる）
合併浄化槽事業取り組み始める
レストハウス「レスト秋桜」建設
- 平成 3 年度 統合保育所建設
飯田カントリー倶楽部オープン（県内唯一のオールシーズンコース）
墓地公園整備 119 区画
- 平成 5 年度 リフレッシュパーク下條 極楽パノラマパーク
新井展望公園 小学校体育館 弓道場 建設
- 平成 6 年度 村立図書館「あしたむらんど下條」建設
（県下第 2 位の利用率 17.0 冊/人）
ヤングコミュニティーハウス建設
- 平成 7 年度 道の駅「信濃路下条」「そばの城」「遊牧館」建設
- 平成 8 年度 ふるさと交流センター「うまいもの館」建設
- 平成 10 年度 刈谷市民休暇村「サンモリユ下條」オープン
下條親水公園建設
- 平成 11 年度 インドアスポーツセンター建設
そばの館建設
【第 1 期】分譲住宅 40 戸売り出し
- 平成 12 年度 医療福祉保健総合健康センター
「いきいきらんど下條」建設
（水中運動が好評）
農産物加工施設建設
- 平成 14 年度 文化芸能交流センター「コスモホール」建設
（年間利用者 約 15000 人）
- 平成 18 年度 【第 2 期】分譲住宅 15 戸造成 売り出し